

「統合報告書2023」を発刊しました

日本道路グループはこのたび、「統合報告書2023」を発刊しました。日本道路グループの統合報告書は、持続的成長に向けたESG経営の取り組み、財務・非財務の価値をステークホルダーの皆さまにご理解いただくことを目的としています。「統合報告書2023」は、2029年の創立100年、更にその先を見据えた当社グループの価値創造ストーリーにおける価値創造の源泉と、それらを活用した成長戦略および事業活動、生み出される価値について紹介しています。当社グループの全体像をご理解いただける内容となっていますので、ぜひご覧ください。



高知県梼原町から感謝状をいただきました

日本道路株式会社は2023年7月、企業版ふるさと納税制度を活用し、高知県高岡郡梼原町に寄附を行いました。9月には梼原町役場にて感謝状贈呈式が執り行われ、当社から代表取締役社長 石井敏行、取締役常務執行役員経営推進本部長 河西俊彦と四国支店の社員が出席しました。贈呈式後は山林へ移動し、協定森林である「日本道路の森」の視察を行いました。



「BRTひこぼしライン」がついに開業！

JR九州「日田彦山線BRTひこぼしライン」が2023年8月に開業しました。「ひこぼしライン」は、2017年7月の九州北部豪雨で被災し不通となっていたJR日田彦山線 添田駅～夜明・日田駅間を、従来の鉄道に代わって結ぶBRT(バス高速輸送システム)です。BRT専用道の約6kmの区間で、廃PETを再生利用した「PETアスコン」を採用していただきました。今回のPETアスコンには、2022年10月にJR九州主催で開催されたウォーキングイベント中に参加者が飲んだ飲料PETボトルが回収され、原材料の一部として加工されたものが使用されています。



女子硬式野球花巻大会の始球式に参加

2023年9月、岩手県花巻市にて第1回女子硬式野球イーハトーブはなまき大会が開催されました。日本道路がオフィシャルパートナーとなっている花巻東高校をはじめ、県内外の大学、高校から12チームが出場し、トーナメント戦を実施。決勝戦の始球式には当社を代表して営業本部長の伊達部長が登場し、見事なストライク投球を披露しました。



日本道路本社ビル一時移転のお知らせ

現在の本社ビルは、1965年に竣工して以来、58年が経過し老朽化が進行していることから、新本社ビルの建替えを計画していることに伴い、一時的に移転を行います。

- 移転先
東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館 7階
- 移転日
2023年11月1日(予定)



移転前・新橋本社ビル

『NICHIDO VIEW』Vol.7について

今回は「NICHIDO-SPORTS～日本道路にしかできないフィールドづくりがある～」をテーマに、過去の実績をご紹介します。皆さんご存じのとおり、当社は道路舗装事業を主たる業務としており、数多くのビッグプロジェクトに携わった経験を有しています。当社はこの経験から得られた“平坦に道路を仕上げる技術”を活かし、スポーツ分野進出へととどり着きました。現在では数多くのスポーツ施設工事に携わり、競技場等のハード面ばかりではなく、ランニング教室開催等のソフト面の提供にも力を入れております。今後も日本道路はスポーツ施設工事をとおして、誰もが楽しめる空間を提供していきます。

(発信力強化ワーキンググループ)

NICHIDO VIEW



亜細亜大学日の出キャンパス

Vol. 7

特集

NICHIDO-SPORTS

～日本道路にしかできないフィールドづくりがある～



Baseball



ZOZOマリンスタジアム



千葉ロッテマリーンズの本拠地です。2017年に野球専用人工芝への張替工事を行いました。

坊っちゃんスタジアム



夏目漱石の小説「坊っちゃん」にちなんで命名された野球場で、過去に3度、プロ野球のオールスターゲームが開催されました。

Track&Field



宮崎県総合運動公園



日本陸連第1種公認競技場として、過去に宮崎国体、全国高校総合体育大会などのメイン会場としても使われています。

青山学院大学



相模原キャンパスのグラウンドは、ナイター照明付きの陸上トラックに加え、陸上競技部・原監督と相談しながら設計施工したアップダウンのあるクロスカントリーコース（約650m）を併設しているのが特徴です。

Run&Walk



秋津中央公園



2021年3月、熊本市秋津中央公園にてプロランニングコーチ・金哲彦氏によるランニング教室を開催しました。

MUFG PARK



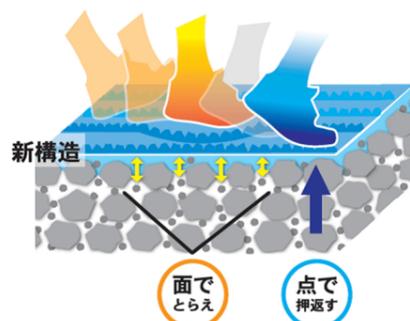
膝にやさしい「快適歩走」が施されたグラウンドを周回するランニング&ウォーキングコースです。青山学院大学や順天堂大学、第一生命などの強豪駅伝チームにも採用されています。

スポーツ施設の工事受注は
道路業界 No.1

NICHIDO-SPORTS

当社の優れた舗装技術と長年蓄積したノウハウで、サッカー場やラグビー場、アメリカンフットボール場などの球技施設、日本陸上競技連盟の公認競技場や高い技術力が求められる競輪場などを建設し、アスリートが最高の能力を発揮できるフィールドを提供しています。

「快適歩走」ってなに？



- 1 足にやさしい**
表面のウレタン樹脂の弾性により、着地時に足にかかる力を吸収します。
- 2 効率的に力を伝達**
ウレタン層が薄いため、蹴り出し時につま先にかかる力を効率的に舗装面に伝達します。
- 3 横ブレ軽減**
ゴムチップ舗装などと比較して、走行時の横ブレが少ないです。

快適歩走は、陸上競技場で使用されるウレタン樹脂をアスファルト舗装の表面空隙部に充填したランナーや歩行者の足腰への負担を少なくする舗装技術です。



Bicycle Race



岸和田競輪場



1991年の大規模改修工事以来30年が経過した2021年に走路改修を行いました。競輪場は傾斜のついたすり鉢状の走路になっていることから高い技術力が求められます。国内では、いわき平・松戸・府府・佐世保・小松島競輪場などの大規模改修を行っています。

Football



花巻東高等学校



2021年10月にサッカー場の人工芝化工事を担当しました。

営業本部 営業第三部 西日本スポーツ担当 桜井部長
営業本部 営業第二部 東日本スポーツ担当 伊達部長



スポーツ施設工事は当社の重点3分野の一つです。「スポーツ施設づくりを通して社会貢献をしたい」という熱い思いを絶やすことなく、さらに全国の様々なスポーツシーンに関わり盛り上げていきたいです！

東都大学野球2023年度
秋季リーグでCM放映



東都大学野球の秋季1部リーグが愛媛県松山市の坊っちゃんスタジアムで開幕し、日本道路はゴールドスポンサーとして本大会をサポートしました。

放映したCMはこちらから▶

